

附表 非木造家屋の調査表

(水力発電所用家屋を除く。)

家の所在地			用途			建築年月日											
所有者	住所			構造			補修時期及び補修状況										
氏名又は名称			床面積	延坪	坪	延坪	坪	戦災状況									
主体構造	使用材数量(床面積一坪当り)	坪	坪	(代表的のもの)	柱	(代表的なもの)	階	地上階	地下階	屋根	工事形態	装備状況	クレーンの有無その他重量の重無				
	鉄骨	屯	壁断面	種	階	米	間	米	階	根	形	状					
	鉄筋	屯	壁量	立坪	階	米	間	米	階	根	形	状					
	コンクリート	立坪	壁体構造の種類	高	階	米	間	米	階	根	形	状					
基礎部分	外見状況	建物の基礎が大きい小さいか	地盤の状況	杭の有無		杭の種類	松杭	コンクリート	杭	施工状況							
	床面積一坪当りの外部積	仕上部分の種類	大理石	ミカゲ石	安山岩	軟石	テラゾ	上金属張り	タイル	上コンクリート	打放し	人造石	人造石	鉄平石	人造洗	モルタル	
外部仕上部分	積	同上の割合	%														
		仕上部分の種類	モルタル	石綿スレート	鉄板	打放し	吹付	打放し	ノロビキ								
		同上の割合	%														
		床面積1坪当り	仕上部分の種類	大理石	ミカゲ石	テラゾ	堅木板	張ワニス	軟石	タイル	上和室	上ベニヤ	板張ベニヤ	中和室	壁紙貼	漆喰ベニヤ	モルタル

(436)

内部仕上部分	の内部積	仕上部分の種類	同上の割合	%													
	坪	プラスチック	モルタル	和室	ベニヤ	吹付	打放し	水性ベニヤ	打放し	ペンキ				銹金物	工事の	状況	
床仕上部分	仕上部分の種類	大理石	ミカゲ石	安山岩	ゴムタイル	テラゾ	タイル	フローリング	リノリウム	アスファルト	フローリング	マスチック	リグノリタ	人造石	モルタル	倉庫用特殊床	
	同上の割合	%															
天井仕上部分	仕上部分の種類	金属天井	漆喰ベニヤ	漆喰	プラスチック	ベニヤ	テツク	金属天井	上天井	日本天井	モルタル						
	同上の割合	%															
屋根仕上部分	仕上部分の種類	防水層	防水層	防水層	防水層	防水層	高級瓦	鉄板	スレート	セメント	日本瓦						
	同上の割合	%															
建具	床面積に対する外部窓面積	スチール	種	上げ	バランス	引違	開き	送り出し	回転	ハメゴロシ	木製	種類	上げ	ハメゴロシ	その他	外部スチールシャッター	面積
	坪	同上の割合	%														坪

(437)

	床面積 に対する 内部 窓面積 坪	サ ツ シ ユ 坪	種 類 同 め る 割 占 合	上 げ 下 げ %	ハ メ ゴ シ	そ の 他	木 製 サ ツ シ ユ	種 類 同 め る 割 占 合	上 げ 下 げ	ハ メ ゴ シ	そ の 他	床面積 に対する 出入 戸面 積 坪	ス チ ー ル ド ア 坪	木 製 戸
附帯設備	電 気 設 備	設備状況程度 (完備してい るかどうか施 行の良否)												
	衛 生 設 備													
	暖 冷 房 設 備													
	劇場特殊附属設 備(固定椅子等) 銀行特殊附属設 備(金庫室等)													
仮設工事 及びその 他の工事														
備 考														

(註) 非木造家屋の評点数を求めるにあたり、本表により必要事項を調査し、これに基き評点数を求めることが正確且つ容易であるので参考までに示すものである。

非木造家屋調査表(水力発電所用家屋を除く。)記載要項

1. 総 括

用途欄には事務所、店舗、百貨店、住宅、アパート、ホテル、病院、銀行、劇場、工場、倉庫、市場等建物の用途を記載し、併用されている場合は階層別にこれを明示すること。

構造欄には鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、煉瓦造、コンクリートブロック造、煉瓦及びコンクリートブロック造等の別を記載すること。

補修状況欄には震災、火災、浸水、沈下等による当該家屋の全体又は屋根、外部、内部床等の修理箇所の状況及び修理年月日を記載すること。

床面積欄には建坪及び延坪を記載すること。

2.

(イ) 主体構造部

- (1) 使用材数量欄には床面積1坪当り鉄骨、鉄筋及びコンクリートの使用量を記載すること。
- (2) 壁工事欄には内外壁について床面積一坪当りの坪数、壁断面(壁の厚さ)壁量及び壁の構造種類を記載すること。壁量は床面積一坪当り壁の容積をいい床面積一坪当りの内外壁坪数の二分の一に壁断面を乗じて算出するものとする。
- (3) 階高とは或る階床面より直上階の床面までの高さをいい、代表的階高及び銀行、劇場、娯楽場等ホール型建物にあつてはホール階高を記載すること。
- (4) 柱間隔欄には柱の中心間の距離を代表的のものについて記載すること。
- (5) 屋根形状欄には陸屋根片流れ鉛直ドーム等屋根の形状を記載すると共に鉄骨トラスの使用の有無及び木造の場合はその旨記載すること。
- (6) 工事形態欄には、当該建物の建築構造工事形態の複雑単純又は普通の別を記載すること。
- (7) 装備状況欄には主として工場、倉庫等のクレーンの有無重量、倉庫の坪当り重量等を記載すること。

(ロ) 基礎部分

- (1) 外見の状況欄は当該建物について建坪外部仕上工事等から外見が重厚(銀行の本店の如く)か軽快(アパート、低層の事務所)かを記載すること。
- (2) 地盤状況欄には通常の判断に基いて当該建物の所在する地盤が下町埋立地にあるか、山手筋にあるか等全般の状況によりその良悪堅硬軟弱の別を記載すること。
- (3) 杭打欄にはその有無種類使用打杭数等を記載すること。

(4) 施工状況は地盤の状況に応ずる基礎工事の施行状況を経過年次外観等から判定しその良否を記載すること。

(ハ) 外部仕上部分

(1) 床面積一坪当りの外部仕上面積欄は、外部仕上総面積を床面積(延)で除した数値を記載すること。

(2) 仕上工事の種類欄は各該当項目を明示し二以上に該当する場合は各項目の外部仕上面積全体に占める割合を記載すること。この場合各項目の内容について特に良質のもの、又は普通以下のものについてはその旨明示すること。

(ニ) 内部仕上部分

(1) 床面積一坪当りの内部仕上面積欄については内部仕上総面積を床面積(延)で除した数値を記載する外仕上工事欄の記載については前項(2)の例によること。

(2) 鋳金物工事の状況欄にはその使用状況を示すこと。

(ホ) 床仕上天井仕上屋根仕上部分

(1) 各部分別の種類欄には各該当項目を表示し二以上に該当する場合は各部分別にその全体に占める割合を記載し各項目の内容について特に良質のもの又は普通以下のものについてはその旨明示すること。

(ヘ) 建 具

(1) 床面積に対する外部窓面積欄には外部窓の総面積を床面積(延)で除した数値を記載すること。

(2) 外部スチールシャッター欄にはスチールシャッターの面積外部開口部の面積を記載すること。

(3) 床面積に対する内部窓面積欄には内部窓の総面積を総床面積で除した数値を記載すること。

(4) 外部窓及び内部窓のサッシの種類欄には各該当項目を表示し、二以上に該当する場合は各項目のスチールサッシ木製サッシを含めた全体に占める割合を記載すること。

(5) 床面積に対する出入口戸面積欄は、出入口戸総面積を総床面積で除した数値を記載すること。

(ト) 附 帯 設 備

(1) 電気設備、衛生設備及び暖冷房設備についてその設備の状況、設備自体の程度の良否について記載し消火栓、自家用発

電、昇降設備、運搬設備等事業の用に供する償却資産は除外すること。

(2) 劇場特殊設備及び銀行特殊附属設備については、固定椅子及び金庫室等について設備の状況施行の程度について記載すること。

(チ) 仮設工事その他の工事

(1) 仮設工事は周囲の余地、交通の便否、股賑地区にあるか閑散地区にあるか建坪に比し高層であるか低層であるか等について記載すること。

(2) その他の工事としては間仕切用木工事、金属工事、屋根小屋組木工事について上記各項目から洩れたもの等についてその材質の良否使用量の多寡等を記載すること。

(リ) 備考欄には上記の外当該建物について評価上参考になる事項を記載すること。